

愛駒 2012 秋 [編集する](#)

2012 年 10 月 04 日 18:28 [\(友人の友人まで公開\)](#)

12 view



天使と悪魔のささやき。

(って、どっちが天使で、どっちが悪魔か!?)

🌼 今年はまだ 3000m 級に登ってないぞ、かいこま

🦀 深いこと考えずに行けちゃうぞ、あいこま

🌼 噂の頑固オヤジを見てみたいではないか、かいこま

🦀 お気楽なオヤジ & 姐さんがいるではないか、あいこま

🌼 黒戸尾根でトレランなんかやらないから小屋を続けて、と頑固オヤジに伝えたいぞ、かいこま

🦀 そんなこと考えなくたって、のんびりできるじゃん、あいこま

🌼 また来るぞと誓ってから 10 年は経ったじゃないか、かいこま

🦀 平日に来ないとゆっくりできないぞ、あいこま

🌼 あの白くて気高い山を忘れてしまったのか、かいこま

🦀 あの山頂らしくない、まんまるみの形で勝負だ、あいこま



ってなわけで、実は一時帰国中のワタクシですが、かなり脳が疲れていたようで、ほんとに何の下調べもせずに家を出たのでありました👜

しかも平日だったので、誰にも声をかけず。このあたりも、疲れていたんだと思う... 💤

とにかく、だいたいいつもの時間に家を出て、例の北千住発の電車に乗れさえすれば🚤

そこはもう...+++++

【10月2日(火)】

今回はこちらから！



このキリンテルートだけは通ったことがなかった。噂では、かなり期待のできる眺望らしい😊

さて、登山道はよく踏み固められているものの、ゆるやか～な登り。ほとんどももを上げた記憶がないくらい、ゆるやか。滝沢ルートが男坂なら、キリンテは女坂といったところか。ここをダラダラダラダラ、ダラダラダラダラ登り続ける...。

ダラダラダラダラ... 🌸

でも、歩き始めてほんの数分で、久々にいい汗をかいてきた。ひんやりとした空気の中、身体がじわじわと温められて発汗する、この感覚。風呂上がりの、若干人工的に作られた汗とも違う、この感覚。最後にこんな汗をかいたのはいつのことだったか...。

と、思い返せば...。

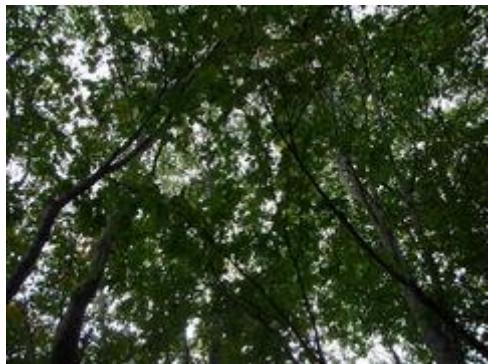
そうだ💡 8月の上海、湿度90%以上の中、ちょっと昼飯を食べに行こうとしただけで、無抵抗に出てきたあの汗以来ではないか...。(ってちがうっ、あのべつとり感の汗と一緒にくたにしてはいかんっ!!🌟 ここは神聖な山なんだーっ!!🚩)

まあそんなこんなで、まずは、ただ歩いているだけで、自己満足。見上げれば、



ズナっち 🌸

でもレンズを通して見上げると、



何回 やっても真っ暗にしか映らない... ↓

がんばれ、オリンパス! 📸

そうこうしているうちに、この爽快感が、だんだん不安に変わり...、

ポツポツ... 🌧

..... 💧

おそらく標高も上がり、雲の中に突入したのであろう。レインウェア装着... ↓ ↓ ↓

その後もずっと樹林帯で、変わり映えがない。

え!? 眺望!? そんなもの知らんっ!



大津岐峰。昼食。

無風だが、やはり止まると寒い。なんかいいものないかなあ、とザックの中を引っ搔きまわすと

チャララン♪ (→ドラえもんがポケットから秘密道具を出すときの BGM)

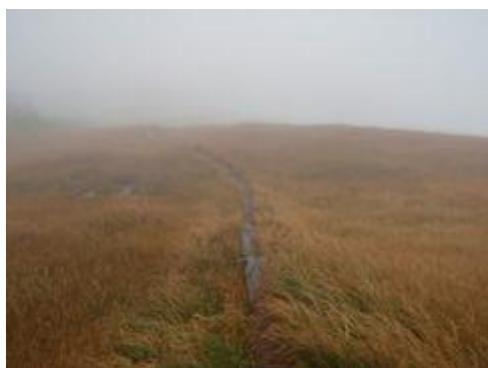
「ホットチョコレート!!」

レシピは簡単。ガーナミルクチョコレートを口の中にころがしたまま、白湯を飲むだけ。食べ始めたら止まらずで、板チョコ半分終了。あれ!

ここからは稜線歩き。時々湿地帯も現れ、木道が整備されているのだが、うん!?



遠方に、何かが...。



草紅葉!!★



小人目線で、草紅葉!!★



これ、天気がよければ、絶対に金色に光るんだろうな～、と妄想しながら、これ以後、ナウシカの曲を口笛で吹く♪

と、気分上々なのに!!

雨の日の木道、滑りやがるぜ... 🌦

あとは、ひたすら稜線を歩くのみ。唯一、ガスがきれた瞬間があって、見れたのがこれ。





小屋のほんのちょっと手前あたり。紅葉はちらほら始まっています。

その後小屋の直前だけ、登りらしい登りが続いたら、



到着!!



駒の小屋



出迎えたくれた小屋番さんに挨拶すると、さりげなく「おかえりなさい」と言ってくれたので、「ただいま」と返した。この小屋に戻ってきたことを実感



でも、ここでまつりするともう外に出たくなるので、荷物だけ置いて、ひとまず山頂へ！



ガスでもなんでもかまわない。とにかく身軽になって、山頂に立ちたい、とその一心で早歩きすること十数分



あっ、

すっかり忘れていた、ここの山頂…。



そうだ、360 度笹に囲まれた、視界のない山頂だった…



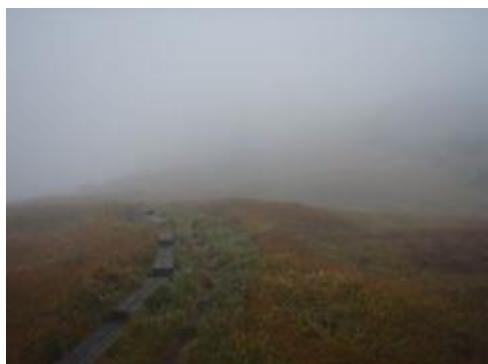
ここ数年、残雪期にしか来ていなかったからなあ、と思いつつ、山頂に立てて、大満足



その後、中門岳方面に、ちょっとだけ足を延ばすが、



ガスが...。はい、これ以上前進する気にもなれず、いさぎよく撤退👉



振り返ればこれ。本当はここに駒ヶ岳が望めるはず。



ああ、本当は日の光に照らされた、幻想的な草紅葉を見たかったんだけどなあ。(そして頭の中の BGM は、再びナウシカの曲がよぎる...。)

本日はこれにて、店じまいっ!!

11:30 キリンテ登山口

12:45-12:55 休憩

14:15-14:40 大津岐峠

16:10-16:12 駒の小屋

16:25-16:35 会津駒ヶ岳

16:50 駒の小屋

ちなみに「一人一枚の布団を確保します」がキヤッチコピーの駒の小屋

某山小屋の詰め込み方式(1つの布団で2人利用)なんてことがないように、完全予約制で、定員30名を超える予約は絶対に受けないのがここのポリシー。なので土日は予約でいっぱい。

だからこそ、平日ならガラガラでゆっくりできるんじゃないかなあ、なんて思ってきたら、この日は12人。平日でも、悪天候でも、じわじわと人気急上昇の山小屋

自炊場で他の登山客とも話していたけど、

「会津駒ヶ岳は日帰りで十分に行ける山なのに、そこを敢えて泊まらせたくなるのが駒の小屋👉」

ほんと、そんな感じなんです、ここ。うん

共有スペースが自炊場しかないから、そこで自然に他の登山客とも話ができ、小屋番さんともゆっくり話ができる(→これもポイント)、そして快眠

ああ、ここに来れてよかったです!!



【10月3日(水)】

朝。窓を開ければ、真っ白。

そうとわかれば、布団でぬくぬく....。

いいんです、今日はのんびりしに来たんです。というか、この肌ざわりのよい毛布が憎い！ 😡

のーんびり起きて、のーんびり食事を作つて、しかも小屋場さんが淹れてくれた、まろやかなコーヒーをのーんびり飲んで☕

「小屋番さん、また来ます！ 🍀」

と笑顔で出発。たくさんの元気をもらいました、ありがとう 🙌🙌🙌

天候の回復が望めないので、滝沢ルートですぐに下山、でもよかったです。正直、上海での運動不足が気になっていたので、

はい、御池まで、れつだごー! 🙌

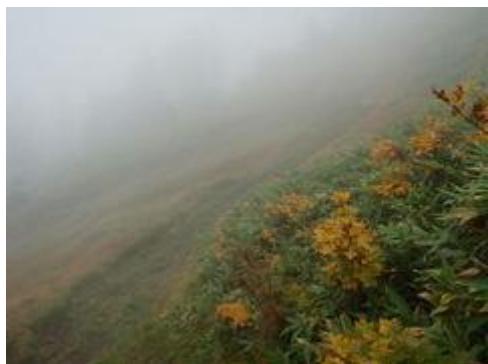
駒の小屋～御池の稜線。多少のアップダウンがある程度で、特に問題なく歩けるルート。晴れてたら、常に真正面に燧が見えていたんだろうな…、と妄想しつつ、



こんな感じ。。。

あとは、ほとんど藪の中をてくてくてくてく歩くしかないので、正直、残雪期(積雪 1.5m くらい?)の方が、視界は広くてすっきりだね😊

あとは画像で。



時折楽しめる、始まったばかりの紅葉🌟



藪の中。



電発避難小屋も、ちょっと紅葉



最後のピーク大杉岳。(まったく眺望ゼロ)

後半、昨日小屋が一緒だった登山客と合流した。よくある山談義から、話題はイモトのマッターホルン登頂

の話に。

いやあ、彼女のすごいところは、その運動神経もさることながら、周りの期待に応えることだよねー、と。

うん

そんなこんなで、最後はトークしながらの下山で、あっという間に御池。お疲れさまでした！

8:20 駒の小屋

9:30-9:35 大津岐峠

10:30-10:40 電発避難小屋

11:30-11:50 大杉岳

12:45 御池

※ちなみに、駒ヶ岳のもっと素晴らしい画像を見たい方は、駒の小屋のブログを見てください

【温泉情報:御池ロッジ】

★500円。

★露天なしで、コンパクトなお風呂場。

★施設がきれい。

この周辺の温泉は、かなり入ってきたけれど、おれの中では相変わらず、「燧の湯」が不動のナンバーワン、かな。

ああ、そんなわけで、あさって(10/5)に、また上海に戻ります。

今回の一時帰国的主要目的は、長野のアパートを引き払うことだったけど、それ以外の休日も、かなり仕事をしていたような気がする…。

次回日本に戻ってくるときは、もっと計画的に休まねば!! 😊

ってことで、次回は、●いこま! 🖤

